

1 交付金事業の名称

大型再処理施設放射能影響調査事業

2 交付金事業の事業主体

青森県

3 交付金事業の実施場所

青森県（青森県青森市長島一丁目1-1）

公益財団法人環境科学技術研究所 本所（青森県上北郡六ヶ所村尾駁家ノ前 1-7）

公益財団法人環境科学技術研究所 先端分子生物科学研究センター（青森県上北郡六ヶ所村鷹架発茶沢 2-121）

公益財団法人日本海洋科学振興財団 むつ海洋研究所（青森県むつ市港町 4-24）

4 交付金事業の概要

大型再処理施設からの排出放射性物質による周辺地域への影響調査、及び当該調査に係る施設整備・運営等を実施した。

5 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

交付金事業に要した経費 2, 847, 600, 792円

交付金充当額 2, 847, 600, 792円

## 6 交付金事業の成果及び評価

大型再処理施設放射能影響調査事業については、地域住民等の安全・安心の確保に資するため、大型再処理施設から排出される放射性物質による当該大型再処理施設の周辺の環境における影響に関する継続的・計画的な4項目にわたる11件の調査研究等を実施し、大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会において、下記のコメントを付して全てA評価を受けたことから、目標値 100%の成果が得られたと評価できる。

### ①環境影響に関する調査研究（海域部分を除く）

多方面にわたる調査研究について、計画どおり着実に継続している。各計画に具体的な数値目標とその根拠の記載があると第三者に成果が分かりやすい。

移行調査は重要な研究であり、特にトリチウム移行については、福島第一原子力発電所からのトリチウム水の海洋放出が実施予定なので、非常に重要な研究である。

環境生物に対する線量評価モデルを構築し、個体および個体群に関する線量評価が進んでいる点を評価する。線量評価に加え、影響に関する情報の収集を望みたい。クロマツ被ばく線量評価については、論文としてまとめる必要があるが、計算評価を適切に行う必要がある。

当該調査研究の成果を、例えばチェルノブイリにおける同様の結果と比較すれば、日本に特徴的な土質（黒ぼく土）に関するデータとして、本調査研究の独自性を強調できると思われる。

地元産品に着目して線量評価が行われている点、住民の関心の観点から評価したい。ホタテガイの部位別トリチウム移行調査、玄米中のセシウム濃度低下手法など、地域住民、生産者、消費者の安心に寄与する成果が得られている。

上記対象者のニーズに応じて成果を整理し、わかりやすい用語を用いるなどの工夫により、理解醸成に努めていただきたい。

### ②環境影響に関する調査研究（海域部分）

六ヶ所沖合の複雑な海況について、放射性核種の環境中挙動に関するモデルの構築と検証並びに改良が着実に進められているものと評価する。

各計画に具体的な数値目標とその根拠の記載があると第三者に成果がわかりやすい。

数値モデルの改善と現場観測は車の両輪であり、どちらにも偏らず、双方の成果が有機的に結びついて更なる成果を挙げることを期待する。今後、放射性核種の環境中への放出の実態に即した検討を期待したい。

海洋移行調査とモデルの構築は重要な研究であり、これも福島第一原子力発電所事故に係る研究と合わせて、より精度の高いモデル開発を大いに期待する。

住民等にとって、固有モデルなどは専門性が高い分野であるため、わかりやすい用語を用いるなどの工夫により、引き続き理解醸成に努めていただきたい。

### ③生物影響に関する調査研究

低線量放射線被ばく影響は非常に重要な研究であり、着実な調査研究を継続している。

今年度は7年間にわたる低線量放射線生物影響実験（継世代影響・線量率効果）等がまとめられており、世界的にも貴重なデータが着実に得られている。

低線量影響に関わる多くのファクターについて整理し、問題解決に取り組んでいる様子が窺われる。

各計画に具体的な数値目標とその根拠の記載があると第三者に成果がわかりやすい。

放射線影響の修飾について、生活環境や生活習慣など「後天的な」要因に着目していることは適切な判断であると評価する。研究成果の発信の際に、先天的な要因よりも、住民の方々の理解・共感が得やすいものと思われる。

国内外に広く成果を発信いただくほか、②と同様、住民等にとっては専門性が高い分野であるため、わかりやすい用語を用いるなどの工夫により、理解醸成活動に努めていただきたい。また、広く他の研究機関との共同研究も進めていただきたい。

### ④小児がん等がん調査事業

計画どおり着実に調査を継続しており、成果が得られている。

長年にわたりデータが蓄積され、広く公表されており、「継続は力なり」であり、今後も本調査を続けていただきたい。

将来的に何らかの健康問題が話題となった場合に「施設稼働前のバックグラウンド」のバックグラウンドとして貴重な情報を提供するものと考えられる。粛々とデータを蓄積することを期待する。